



アマチュアオーケストラ

新交響楽団 第255回演奏会

The New Symphony Orchestra - 255th Concert

指揮 飯守 泰次郎
IIMORI Taijiro, conductor

ワーグナー

Richard WAGNER (1813-1883)

歌劇「リエンツィ」序曲

Overture to the Opera "Rienzi" WWV.49, 1840

歌劇「タンホイザー」序曲

Overture to the Opera "Tannhäuser" WWV.70, 1845

ブルックナー

Anton BRUCKNER (1824-1896)

交響曲第3番 二短調

1889年第3稿 ノヴァーク校訂版

Symphony No. 3 in d minor, WAB 103, 1889 version (L. Nowak edition)

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2021年10月31日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, October 31, 2021, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,000 (全席指定)

チケットのお申し込み: 新交響楽団ホームページ <http://www.shinkyō.com/>

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイマジジン 03(3235)3777 *10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

・客席内でのソーシャル・ディスタンス確保のため、ご購入できるお座席を一部制限しております。

・感染予防及び公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前予約・引き取り・購入をおすすめいたします。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyō.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

遅咲きの大作曲家ブルックナー

ブルックナーはオーストリアの大作曲家、今年が没後 125 年にあたります。リンツ近郊の村に生まれ、聖フローリアン修道院の聖歌隊で学び、同修道院の教師、オルガニストを経て、リンツ大聖堂のオルガニストとなります。その後本格的に作曲を行い、ウィーンに出たのが 44 歳でした。

ブルックナーは通し番号のないものを含め 11 の交響曲を遺していますが、それらはいずれも宗教的でオルガンの響きと自然の森を想わせ、独自の世界があります。

ワーグナーに献上した交響曲

今回演奏する交響曲第 3 番には「ワーグナー」というニックネームが付いています。ブルックナーはリンツ時代にワーグナー作品を研究してから熱烈なワーグナー信者で、第 3 交響曲の初稿を持ってパイロイトのワーグナー宅を訪ね献呈を受けてもらったのです。しかしウィーン・フィルに演奏不可能と判断され演奏が見送られ、第 2 稿の初演も失敗に終わったのでした。

ブルックナーの交響曲は、複数の稿（本人による書き換え）や版（編集や校訂）が存在することが特徴で、自身のより良くしようという音楽的欲求が反映されているのでしょう。今回演奏する第 3 稿は初稿から 16 年後に改訂されたもので、作曲家としての地位が確立し第 8 交響曲を作曲している時期です。初稿から大きく変更されワーグナーの影響は減りましたが、洗練されてわかりやすい曲となっています。

パリのワーグナー

ワーグナーはドイツの大作曲家、ブルックナーより 11 歳年上です。ベートーヴェンからのロマン派音楽の流れを交響曲という形で受け継いだブルックナーとは対照的に、ロマンティック・オペラに発展させたのがワーグナーです。20 代後半で 3 年間パリに滞在していた時の作品が「リエンツィ」でしたが、パリでの上演がかなわずドレスデンで初演しました。次に作曲した「タンホイザー」は、パリ公演の際にバレエの挿入を求められ改訂したにもかかわらず 3 日で中止となったのでした。

どうぞお楽しみに！ (H.O.)

ご来場いただくお客様へ（新型コロナウイルス感染症対策）

当日はご自宅で検温していただき、マスク着用にてご来場ください。37.5℃以上の発熱、咳・のどの痛み・倦怠感等の体調不良がある方、過去 2 週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方は、ご来場をお控えください。

会場入り口でご来場の皆様の体温を測定いたします。会場内ではマスク着用し、咳エチケットやこまめな手洗い、手指消毒をお願いします。ほかの人との距離できるだけ空けるようにし、大きな声での会話は控えください。

クローカーサービスとドリンクコーナーは休止していますのでご注意ください。また出演者への贈り物はお控えください。

体調不良等が認められる場合は、ご入場をお断りする場合があります。なお、体調に不安がありご来場をお控えいただく場合や、当日の検温の結果入場いただけない場合は、チケット代を払い戻します。

詳しくはホームページにて注意事項や公演の最新情報をご確認ください。これらのお願事項につきましては、状況により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

今後の演奏会予定

<第 256 回演奏会>

2022 年 1 月 9 日（日）14 時 東京芸術劇場

指揮 矢崎 彦太郎

曲目 メンデルスゾーン/交響曲第 3 番「スコットランド」、プーランク/組曲「牝鹿」、ビゼー/組曲「アルルの女」

<第 257 回演奏会>

2022 年 4 月 29 日（金祝）14 時 東京芸術劇場

指揮 飯守 泰次郎

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は 1956 年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志（1925-89）の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10 年におよぶ日本の交響作品展（1976 年にサントリー音楽賞を受賞）、ショスタコーヴィチ交響曲第 4 番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ（山田一雄指揮、1979-90）、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏（石井眞木指揮、1993）、伊福部昭米寿記念演奏会（2002）、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演（高関健指揮、2004）、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演（飯守泰次郎指揮、2006）など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口 10,000 円で、2 年間有効の 5 枚綴りの回数券（どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能）を差し上げます。良い S 席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0- 28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせは E-mail : shinkyoe@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後 6 時～9 時、東京芸術劇場（池袋）、クラシック・スペース☆100（大久保）他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。対象年齢：生後 3 ヶ月から小学校入学前、1 公演あたり 2,200 円（税込）お問合せ：株式会社ミラクス ミラクスシッター、電話 0120-415-306（平日 9:00～17:00、土日祝日休み）